カテゴリー	Q.番号	設問文	回答形式	選択肢	備考	公開の有無
プロファイル	1	あなたのメールアドレスを記載してください（任意）	自由記述	ー		×
	2	あなたの所属部門を選択してください。	単一選択	経営層 経営企画部門 事業系部門 情報システム部門 営業・マーケティング部門 研究・開発部門 個人事業主・フリーランス その他		○
	3	あなたの会社の従業員数（常勤）を選択してください。	単一選択	1～20人 21～100人 101～300人 301～1000人 1001人以上 わからない		○
	4	あなたの会社の直近2決算期間での売上高と営業利益の増加・減少の変化を選択してください（任意）。	単一選択	売上高、営業利益がともに増加 売上高は増加したが、営業利益は減少 売上高は減少したが、営業利益は増加 売上高、営業利益とも減少 わからない		○
	5	【ユーザー企業】：あなたの会社の産業分野を選択してください（複数選択可）。 【ベンダー企業】：あなたの会社が提供しているPKGソフトやサービス、または請負うシステムやソフトウェアの産業分野を選択してください（複数選択可）。 【個人】：あなたが携わっているシステムやソフトウェア開発の産業分野を選択してください（複数選択可）。	複数選択	農業、林業 漁業 鉱業、採石業、砂利採取業 建設業 製造業 電気・ガス・熱供給・水道業 情報通信業 運輸業、郵便業 卸売業、小売業 金融業、保険業 不動産業、物品賃貸業 学術研究、専門・技術サービス業 宿泊業、飲食サービス業 生活関連サービス業、娯楽業 教育、学習支援業 医療、福祉 複合サービス事業 サービス業（他に分類されないもの） 公務（他に分類されないもの） その他（分類不能の産業）	ユーザー企業、ベンダー企業、個人向けは設問文が一部異なる。	○

カテゴリー	Q. 番号	設問文	回答 形式	選択肢	備考	公開の 有無
	6	【ユーザー企業】：利用しているサービスや製品のソフトウェアの位置づけについて、いずれかを選択してください。 【ベンダー企業】：提供または請負うソフトウェアの位置づけについて、いずれかを選択してください。 【個人】：あなたが携わっているソフトウェアの位置づけについて、いずれかを選択してください。			ユーザー企業、ベンダー企業、個人向けは設問文が一部異なる。	
	6-1	主な実行環境	単一 選択	コンピュータ環境で実行するソフトウェア 機器に組み込まれて実行するソフトウェア（ハードウェア制御等のソフトウェア）		○
	6-2	【ユーザー企業】：主に使うソフトウェア 【ベンダー企業／個人】：主に提供または請負うソフトウェア	単一 選択	独自のシステムやソフトウェア 汎用パッケージやサービス	ユーザー企業と、ベンダー企業、個人向けは設問文が一部異なる。	○
	6-3	提供範囲	単一 選択	エンドユーザーに提供するサービスや製品 エンドユーザーに提供するサービスや製品の部分的なもの （組込みソフトやソフトウェア開発の部分委託を含む）	ベンダー企業、個人向け設問	○
ソフトウェアエンジニアリング （課題のある工程の確認）	7	【ユーザー企業】：利用している外部サービスやソフトウェア製品、またシステムやソフトウェア開発に関して、課題があると感じている作業や作業方法を５個程度選択してください（複数選択可）。 【ベンダー企業】：提供または請負うシステムやソフトウェア開発に関して、課題があると感じている作業や作業方法を５個程度選択してください（複数選択可）。 【個人】：携わっているシステムやソフトウェア開発に関して、課題があると感じている作業や作業方法を５個程度選択してください（複数選択可）。	複数 選択	契約 見積り(費用) 見積り(工期) プロジェクト管理 コミュニケーション(社内) コミュニケーション(外部) 品質管理 要件定義／管理 設計 外部サービス活用(インタフェース、モジュール等) セキュアソフトウェア開発(脆弱性対応など) 開発(プログラミングを含む) テスト 移行 運用・保守 その他	ユーザー企業、ベンダー企業、個人向けは設問文が一部異なる。	○
見積り手法 （見積もり改善に向けた状況把握）	8	見積り手法についてお尋ねします。当てはまるものを選択してください。 1.価値、パフォーマンス 2.ストーリーポイント 3.WBSベース 4.類似のシステムからの類推 5.ファンクションポイント 6.LoC（Lines of Code） 7.複数社見積もりからの類推 8.その他	単一 選択	使っている 一部使っている 検討中 使っていない わからない		○
	9	見積もり手法について特段の課題があれば教えてください（自由記述）。	自由 記述	―		×

カテゴリー	Q.番号	設問文	回答形式	選択肢	備考	公開の有無
要求・要件定義、仕様書とその管理（重要工程での現状と課題の確認）	10	要求・要件を定義する際にツールや手法を使っていますか。使っている場合は、そのツールや手法を選択してください（複数選択可）。	複数選択	モデリングツール（SysML） モデリングツール（UML） ユーザーストーリマップ その他		○
	11	要求・要件管理の方法を選択してください（複数選択可）。	複数選択	タスク管理ツールで管理している 仕様管理ツールで管理している 仕様変更票で管理している 仕様書で定義して変更履歴で管理している エクセル等の一般ツールで管理している 議事録で管理している その他 体系的に管理できていない		○
	12	機能設計を行う場合、その方法について当てはまるものを選択してください（複数選択可）。	複数選択	業務パッケージやローコードツールに付帯しているモデリングツールを使っている 論理チェックや自動コード生成ができるモデリングツールを使っている 作図のみの簡易モデリングツールを使っている Microsoft Office等の汎用ツールで作っている その他		○
	13	業務プロセス設計を行う場合、その方法について当てはまるものを選択してください（複数選択可）。	複数選択	業務パッケージやローコードツールに付帯しているモデリングツールを使っている 論理チェックや自動コード生成ができるモデリングツールを使っている 作図のみの簡易モデリングツールを使っている Microsoft Office等の汎用ツールで作っている その他		○
	14	データ設計を行う場合、その方法について当てはまるものを選択してください（複数選択可）。	複数選択	業務パッケージやローコードツールに付帯しているモデリングツールを使っている 論理チェックや自動コード生成ができるモデリングツールを使っている 作図のみの簡易モデリングツールを使っている Microsoft Office等の汎用ツールで作っている その他		○
	15	モデリング手法を活用する場合の課題についてお尋ねします。当てはまるものを選択してください（複数選択可）。	複数選択	改良開発の前提となる既存のソフトウェアがモデリングを使っていない モデリングができる技術者が不足している 開発発注先の会社がモデリングを提案してこない モデリングツールの機能が十分ではない 従来のドキュメント記述で対応できるのでモデリングは必要ない モデリングで書くことを利用部門や要求元が望んでいない その他		○
	16	要求・要件定義、仕様管理について特段の課題があれば教えてください（自由記述）。	自由記述	―		×

カテゴリー	Q.番号	設問文	回答形式	選択肢	備考	公開の有無
開発手法、開発ツール（変化が激しい領域への対応状況の確認）	17	システムやソフトウェアの開発手法についてお尋ねします。当てはまるものを選択してください（複数選択可）。	複数選択	ウォーターフォール アジャイル(スクラム等の厳密なルールがある) アジャイル(厳密なルールがない) DevOps(DevSecOps) ノーコード/ローコード モデルベース開発 その他		○
	18	設計や開発の時に使っているツールについてお尋ねします。当てはまるものを選択してください（複数選択可）。	複数選択	統合開発環境(IDE) アーキテクチャ設計ツール コードジェネレータ（生成AI活用は除く） 生成AI デバッガー プロトタイピングツール シミュレーションツール プロジェクト管理ツール タスク管理ツール 構成管理ツール テスト支援ツール 品質管理ツール 第三者が提供するテストベッド CI/CDツール コミュニケーションツール その他		○
OSS、外部サービス（最近増えている組み立て型システムへの対応状況の確認）	19	オープンソースソフトウェア(OSS)について、当てはまるものを選択してください（複数選択可）。	複数選択	OSSがある場合には積極的に使う OSSの利用は適宜判断している OSSはなるべく使わない 開発したものをOSS化している OSSのコミュニティに社員が参加することを会社として奨励している OSSの使用についての会社規約・指針・ガイド等がある わからない		○
	20	外部サービス活用（インタフェース、モジュール等）について、当てはまるものを選択してください（複数選択可）。	複数選択	外部サービスが活用できる場合には積極的に使う 外部サービスの利用は適宜判断している 外部サービスはなるべく使わない 外部サービス利用についての会社規約・指針・ガイド等がある わからない		○
	21	OSSや外部サービスについて「なるべく使わない」を選択した方にお尋ねします。その理由について当てはまるものを選択してください（複数選択可）。	複数選択	活用できるOSSや外部サービスの存在を知る方法が分からない 活用したいOSSや外部サービスの詳しい情報 （品質・性能、ライセンス、維持管理履歴、セキュリティリスク等）を知る方法が分からない 安心して活用できるOSSや外部サービスを紹介した公的な情報サイトがない メンテナンスや運用に不安がある 利用部門や要求元が嫌がる 自社のソフトウェア資産に同等のものがある その他		○

カテゴリー	Q.番号	設問文	回答形式	選択肢	備考	公開の有無
セキュアソフト開発	22	セキュアソフトウェア開発への対応を選択してください（複数選択可）。 ※SSDF（セキュアソフトウェア開発フレームワーク）は米国政府標準局が策定したフレームワーク ※SBOM（ソフトウェア部品表）はソフトウェアの構成の管理をする手法	複数選択	NISTのSSDFを参考にした会社規約・指針・ガイド等がある ソフトウェア開発におけるセキュリティ確保について会社規約・指針・ガイド等がある SBOMを導入または検討している 特に対応していない わからない その他		○
	23	「SBOMを導入または検討している」を選択した方にお尋ねします。その理由として当てはまるものを選択してください（複数選択可）。	複数選択	脆弱性対策 障害対策 構成管理 生産性向上 ライセンス管理 その他		○
品質管理	24	品質管理の重視事項（下記）について、1番から３番までの優先順位を選択してください。	単一選択	設計の可視化 レビュー時間 レビュー回数 テストケース数 テストケースの確認 サービス後の満足度 サービス後の問い合わせ数		○
	25	リリース時の確認事項について当てはまるものを選択してください（複数選択可）。	複数選択	仕様管理が収束しているか 品質管理報告が整理されているか 残課題の一覧があるか その他	ユーザー企業向け設問	○
	26	ソフトウェアの設計、開発について特段の課題があれば教えてください（自由記述）。	自由記述	ー		×

カテゴリー	Q.番号	設問文	回答形式	選択肢	備考	公開の有無
新しいテクノロジー（技術への取り組み状況の確認）	27	下記のテクノロジーについて、あなたの会社の導入状況をお尋ねします。当てはまるものを選択してください。 1.生成AI 2.生成AI以外のAI 3.ブロックチェーン 4.クラウドネイティブ 5.グラフDB等のグラフ技術 6.オントロジー 7.AR/VR 8.ビッグデータ活用 9.MDM（マスターデータ管理） 10.ダッシュボード 11.ゼロトラスト 12.SBOM	単一選択	導入している 試行している 検討中 導入していない わからない		○
デジタルツイン、Edge-cloud（今後利用が拡大する領域への取り組み状況の確認）	28	デジタルツイン(CPS)を開発しているもしくは開発に利用している場合、その目的を選択してください（複数選択可）。	複数選択	仮想空間でのデータを活用した分析・可視化 仮想空間での設計の検証 仮想空間での運用の検証 仮想空間での試行、シミュレーション 仮想空間を使った教育・訓練 仮想空間を使った遠隔操作 その他		○
	29	デジタルツイン(CPS)を利用している場合、状況や課題を選択してください（複数選択可）。	複数選択	コストや時間が掛かる 良いツールがない デジタルツインのモデリングやその実装ができる技術者の不足 従来のシミュレーションレベルで十分 利用部門や要求元が求めていない その他		○
	30	あなたの会社では、Edge-cloud等のセンサーネットワークとシステムとの連携が進んでいますか。	単一選択	以前より増えている 変わらない 減っている わからない 扱っていない		○
	31	Edge-cloudを進めるうえでのソフトウェア面の課題がありましたら教えてください（自由記述）。	自由記述	―		×

カテゴリー	Q.番号	設問文	回答形式	選択肢	備考	公開の有無
運用からのフィードバック（継続改善の仕組みの整備状況の確認）	32	DevSecOpsのような、運用から開発にフィードバックする仕組みが注目されていますが、実施している活動や仕組みについて当てはまるものを選択してください（複数選択可）。	複数選択	不具合発生時等に、開発部門にフィードバックしている 不具合発生時等に、開発部門にフィードバックする仕組みがある 運用に関する定期レポートの作成若しくは、開発部門が運用状況を把握する仕組みがある コンフィギュレーション管理をしている セキュリティパッチの適用状況やセキュリティアラートを収集する仕組みがある フィードバックが行われていない その他	ユーザー企業向け設問	○
内製化（内製化の国内状況の把握）	33	あなたの会社の内製化の考え方を教えてください（複数選択可）。	複数選択	社内の情報システム部門が中心となって開発する 社内の情報システム部門と事業部門がプロジェクトチームを作って開発する 情報システムを扱うグループ会社が開発する 事業部門がノーコードツールなどで開発する 内製化は現時点で考えていない その他		
	34	あなたの会社の内製化／外部委託の状況について、業務ごとに当てはまるものを選択してください。 1.企画 2.要件定義／管理 3.設計 4.開発（プログラミングを含む） 5.テスト 6.移行 7.運用・保守 ※「要件定義／管理」には、アジャイル開発の場合の「ユーザーストーリー定義／プロダクトバックログ作成」も含めてください。	単一選択	内製化 一部内製化 内製化試行中 外部委託 わからない		
	35	内製化を進めている場合にお尋ねします。内製化の体制整備について、業務ごとに当てはまるものを選択してください（複数選択可）。 1.企画 2.要件定義／管理 3.設計 4.開発（プログラミングを含む） 5.テスト 6.移行 7.運用・保守	複数選択	社内人材を育成 外部人材を採用（部門スタッフ） 外部人材を採用（プロジェクト期間スタッフ） 委託先の人材が常駐		
	36	内製化を進めている場合にお尋ねします。内製化の目的は何ですか。	複数選択	社会変化への迅速な対応 細かい現場ニーズの把握 セキュリティの向上 コスト削減 中長期的なデジタル人材育成 その他		
	37	内製化について特段の課題があれば教えてください（自由記述）。	自由記述	―		×

カテゴリー	Q.番号	設問文	回答形式	選択肢	備考	公開の有無
契約（契約の状況把握とモデル契約の必要性の確認）	38	【ユーザー企業】：システムやソフトウェア開発を委託する際の契約書について、主な作成方法を選択してください。 【ベンダー企業／個人】：システムやソフトウェア開発を受託する際の契約書について、主な作成方法を選択してください。	単一選択	IPAのモデル契約をベースに契約することが多い 社内のひな型を使うことが多い 取引相手の契約書を使うことが多い ケースバイケース その他 わからない	ユーザー企業と、ベンダー企業、個人向けは設問文が一部異なる。	○
	39	〔再委託〕システムやソフトウェア開発を外部委託する際の契約書について、主な作成方法を選択してください。	単一選択	IPAのモデル契約をベースに契約することが多い 社内のひな型を使うことが多い 取引相手の契約書を使うことが多い ケースバイケース その他 わからない	ベンダー企業、個人向け設問	○
	40	【ユーザー企業】：契約に課題がある場合、当てはまるものを選択してください（複数選択可）。 【ベンダー企業／個人】：受託契約に課題がある場合、当てはまるものを選択してください（複数選択可）。	複数選択	契約相手からフェアではない契約を提示される 契約内容に問題があり開発中、納品時に調整が必要になることがある 契約について相談する相手がいない 取引先毎に契約が違い、手間がかかる その他	ユーザー企業と、ベンダー企業、個人向けは設問文が一部異なる。	○
	41	〔再委託〕外部委託契約に課題がある場合、当てはまるものを選択してください（複数選択可）。	複数選択	契約相手からフェアではない契約を提示される 契約内容に問題があり開発中、納品時に調整が必要になることがある 契約について相談する相手がいない 取引先毎に契約が違い、手間がかかる その他	ベンダー企業、個人向け設問	○
	42	【ユーザー企業】：ソフトウェア開発を委託する際の重視事項（下記）について、1番から４番までの優先順位を選択してください。 【ベンダー企業／個人】：ソフトウェア開発を受託する際の重視事項（下記）について、1番から４番までの優先順位を選択してください。	単一選択	コスト 品質 スピード 変更容易性 ガバナンス リスク対応 その他	ユーザー企業と、ベンダー企業、個人向けは設問文が一部異なる。	○
	43	契約について特段の課題があれば教えてください（自由記述）。	自由記述	―		×
自由記述	44	ソフトウェア開発におけるAIの活用について考え方を書いてください。	自由記述	―		×
	45	あなたがソフトウェア開発において社会全体の共通課題として解決してほしいものを書いてください。	自由記述	―		×
	46	その他にIPAへの期待がありましたら自由に書いてください。	自由記述	―		×

(c)Information-technology Promotion Agency, Japan（IPA）